

トップメッセージ



「シチズン」という社名、企業理念が私たちの源泉。
そして、100年先も継続する企業を目指して。

これからの成長戦略に向けて

中期経営計画の前半の2年間は、組織の改編や人員の適正化、工場の再編、事業ポートフォリオの見直しなどに取り組み、グループ全体で見ると、ある程度計画通り進んだのではないかと考えています。ただ、海外製造拠点再編の一環として行った、中国生産拠点の西鉄城精密(広州)有限公司の解散において、初期段階での混乱や一部メディアの誤報などにより、ステークホルダーの皆さまにご心配とご迷惑をおかけしたことは、深く反省すべき点であります。今後はこのようなことがないよう、企業統治体制の強化を図っていきます。中国の状況は変化していますが、まだまだ大きな可能性があり、また、インフラが整っているという点においても、生産拠点としてはやはり重要です。人件費の高騰などの課題もありますが、製造革新に取り組むことなどで対応し、引き続き中国を重要地域と位置づけて営業、製造を続けていきます。

2015年度は、製造革新により創出した利益を、技術開発や設備投資に振り分け、さらなる成長を遂げることで、「シチズングローバルプラン2018」の実現を目指していきます。

長期的な視点で取り組む人材育成

「真のグローバル企業」の実現には、現地の方々との連携は欠かせません。そのため、現地の文化・慣習への理解は重要であり、その違いや差を認めることができるか、というベーシックなところに語学が加わることで、コミュニケーションはより円滑になっていきます。スキルだけでなく、人としての魅力が問われるのだと思います。

女性活躍推進については、まだまだ取り組み始めたばかりです。さらなる推進のためには意識改革が重要であるという認識から、2014年度は「女性キャリア研修」「部門長向けダイバーシティ研修」に取り組みました。

多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげていきたいと考えています。

事業を通じた社会的な課題の解決

1976年の世界初のアナログ式太陽光発電時計をはじめとして、現在に至るまでに、社会や環境に配慮したさまざまな製品を開発してきました。これらは結果的に我々の抱えている社会的な課題の解決に資する製品であり、企業としては当然の取り組みだと考えています。そもそも企業というのは、社会の中で非常に重要な責任を負っていると思います。社会との共有価値を創出するには、企業の存在価値という根本の部分を見直す必要があります。これも時間がかかる取り組みですが、例えば、現在取り組んでいるCSV^{*}(Creating Shared Value)の考え方が、マーケティングや開発の段階で自然に議論されるような会社になれば良いと思います。

※ CSV : Creating Shared Value。企業と社会がシェアできる新しい価値を創出する取り組み。

100年先も継続する企業を目指して

変化の激しい時代において、100年先を見据えるのはとても難しいことです。企業というものは、時代の変化に合わせて進化することが重要で、私たちの強みをその時代に合わせた形でどう発揮できるかということを常に考える必要があります。それが持続的な成長につながると思います。

そして、成長の基本には社会との結びつきが欠かせません。同時に、会社を支える核となるのは、いうまでもなく従業員です。従業員を大切にすることでお客さまへの付加価値の高い製品やサービスが生まれます。それを忘れないことが重要であり、全ての事業活動のベースであると考えています。

今後もこの信念のもと、市民に愛され、社会に貢献する企業を目指していきます。

2015年6月

シチズンホールディングス株式会社
代表取締役社長

戸倉敏夫